(本號八面)　(明治二十五年十一月二十日遞信省認可)　明治二十七年二月七日　第三千八百八十五號　(定價金二錢五厘)

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

明治廿七年二月七日
舊曆甲午正月二日　(庚辰)　水曜日
日出午前六時三十分　日入午後五時十三分
月出午前七時三十分　月入午後六時二十分
滿潮午前六時五十分　午後六時三十五分
(西暦一千八百九十四年)
年始より年末まで　三百二十八日

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳悉なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

時事新報定價(府外遞送には此他後に掲ぐる遞送料を要す)

一號　貳錢五厘〇一箇月　前金五拾錢〇三箇月　前金壹圓四拾五錢〇六箇月　前金貳圓八拾五錢〇一箇年　前金五圓六拾錢〇月曜日休刊(此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ)

●前金　一旦受取りたる前金は凡て通貨を以て返戻する事なく新聞紙代の前金は新聞紙を以て又廣告料の前金は廣告を以て勘定する事と御承知被下度候

時事新報遞送料

一　日本國内並に朝鮮國京城、仁川、釜山、元山津　一箇月　金拾三錢

二　南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國　一箇月　金六拾錢

三　北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸嶋　一箇月　金三拾錢

四　香港を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸嶋、濠洲　一箇月　金六拾五錢

五　露領浦潮斯德、淸國諸港　一箇月　金三拾五錢

時事新報廣告料(前金)

一行五號活字四號數	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

●廣告料金定價　時事新報の廣告料は掲て定價の通り申受くる筈なれども取次人の内には往々定價以下にて引受くる者ある由今後斯る事實を發見する時は直ちに其取次人に對し本社廣告の取次を謝絶する事もあるべき旨に付豫め廣告依頼者諸君に公告す

本社(寄稿)に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填塞するより各社同一の記事を掲ぐること算からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社會に通信を依頼せざると雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報社に達したる投書の原稿は凡て寄稿者に返戻せず又本社に保存せず

時事新報

時事新報

左の一編は米國下院の財務委員長にしてデモクラチック黨の新關稅法案提出者たるウヰルソン氏の論文を抄譯したるものなり米國關稅の變動は日本の貿易上に影響するみと最も容易ならざれば記して以て貿易家の參考に供す

合衆國財政困難の由來

合衆國は他の國々と事變りて輸入の高、常に歳出に超過し毎年政府の會計に巨額の剩餘金を生ずるを以て世人に有名なりしが近來に至て年々の剩餘金次第に減少し現に千八百九十二年七月より九十三年七月に至る一年間の如きは歳入の歳出より多きみと僅に三百萬弗にて買收したり又千八百九十年十二月大藏卿の報告に據れば政府は同年六月以後に九千八百三十萬弗を支拂ふて七千五百八十萬弗の公債を償却したりと云ふレパブリカン黨は又砂糖製造保護案を可決して同製造者に金を與へたる其總計凡そ一億七千萬弗に達せり然れども合衆國の國庫を空虚とするに與りて最も力ありしものは即ち千八百九十年七月三十日に發布したる恩給條例なり此法律の爲めに恩給金を受る者の數、頓に增加し毎年政府の支出に六千萬弗の增加を生じたり斯の如くレパブリカン黨が只管政府の剩餘金を救減せんみとを勉るは何故なるかと尋るに全く一方に於て大に關稅を重くして國内の製造業者に利益を與へんとするの策に外ならず既に國内に於て取る可きの稅源なくして政府の支出は益す增加するとありては唯關稅の收入に依賴するの外ある可らず是れ彼れ保護論者の心に期する所にして彼れ等の是れまでに施したる政策は一として此目的を達するの手段たらざるはなし今やデモクラット黨は斯る失政の後を引受けて之を整理するの任に當る者なり吾々の業務も亦困難なりと云ふ可し(以下會社所得稅の說は之を略す)

雜報

○京都紀念殿の雛形　京都の紀念殿敷地内にて目下繩工中なる同殿の雛形は實物の二十分一に摸せしものなるが檜の白木造にて其費額千餘圓なり工事は去る十二月中旬に起工し目下大極殿と應天門とを終り殘るは歩廊及び靑龍白虎の二樓のみ是とて毎日十餘人の大工入込み居れば來る十五六日頃には悉く竣工すべしと云ふ

○紀念殿の竣工期　京都紀念殿の工事は夫々小舍を拵けて着手せしが今日までは豫定通りに取運びたれば本年十一月中には木組落成に至るべしと云ふ又同工事に用ふる材木は伐木後十年を經たる檜にて乾割の憂ひなかるべきも萬一を慮り柱材は悉く器械を以て其中心を通し空氣の流通すべき穴を穿ち表面には布を卷きて其上より丹を塗抹し悉く朱塗となす筈なりと云

○兵庫縣自由黨候補者　同縣各撰擧區より自由黨候補者として打て出で同黨本部(星出)でたるは左の人々なるよし

第一區本城安太郎、第二區奥野小四郎、第三區田綛吉、第四區石田貫之助、第六區高瀨藤太郎、第八區改野耕三、第九區國領通、第十區佐野助作

○大坂商業會議所會頭の辭職　大坂商業會議所會頭田中市兵衛氏が去月三十日突然辭表を副會頭迄提出したるみとは已に記したるが今其理由なりと云ふを聞くに近來大坂市民の騒ぎ居る鐵道則ち坂鶴、京鶴、福丹の線路に就き先に府市會議員等は京鶴福丹線の利益あるを主張し尚は同商業會議所員中府市會議員を兼ぬる者は同會議所に建議を爲し府市會同樣京鶴福丹の方に贊成し爰に大坂全體の輿論となし大に同線路の勢力を張らんとしたるも會頭田中氏は是等の問題は成るべく商業會議所に於て關係せざる方針を取りしも關起連は中々承知せず遂に會頭が會議を開ざるは越權なりと非難し同氣相求るの會員は檄を傳へて攻撃したるより田中氏も遂に今回辭表提出するに至りたるものなり右に付去る一日の夜副會頭金澤仁兵衛、浮田桂造氏等以下役員會を開き種々協議を遂げ今一應辭職思止めの勸告を爲したるも容易に應ずるの色なく結局初念を飜さゞるよし左れば近々會合して會衆を温め居れるも元來同會議所前會頭は當り適當なる後任者なく頼したる程なれば會頭の選擧しなりと

○碧血會員の送別會　左記の會員は其後碧血會なる物入りの後を受け困難なる生絲、茶、製茶、綿物、織物、陶磁器其他の諸雜貨を一層賣開散にして殊に引續き此程は來遊外客もボーイ、メードがストー留地及市内の雜貨美術店、海產物、は支那の歳末に當くは賣行き始まらざる引取品も矢張り昨今は何れも一樣の有樣なり抑金融は如何と云ふに生糸以上滯積して容易に賣行融は何處も漸々逼迫の傾追ひ〳〵緊縮し來り本月ならんには益々逼迫を來しと云ふべから予各銀行廻りは至て惡しく有る處より融通さず中以上の社會は益す厚く以來新年に掛けて市中の催すもの非常に尠なかり其一斑を知るに足るべし下等社會に至ては不景の下等社會を益する茶店人夫及定用女は使用者の手巾廻卷其他の製織は勿の職工とも仕事は少くとも概して三四割方も低落し貰し賜て管外の小賣商

(本號八面)　(明治二十五年十一月二十日遞信省認可)　明治二十七年二月七日　第三千八百八十五號　(定價金二錢五厘)